



大分県立芸術文化短期大学 国際文化学科 通信

GLOBAL GAZETTE

September, 2012

「グローバル多文化体験学習団」の韓国人小中学生と交流

8月10日(金)に、本学の竹田キャンパスで、「グローバル多文化体験学習団」として来県中の韓国・全羅南道谷城郡の子供たちと国際文化学科の学生8人が交流しました。小学校 5・6 年生と中学生の計 39 名。



簡単な挨拶の後、まずは染め物体験。講師は、短大の非常勤講師でもある前田亮二先生。布製バッグに藍で色を付けました。その後、バーベキューパーティ。食後は、日本の遊びを体験。最後に、韓国の子供たちには「日本」と聞いて思い浮かぶもの、日本の学生たちには「韓国」と聞いて思い浮かぶもの、について絵を描いてもらい、そして、何人かが発表しました。短い時間でしたが、素晴らしい交流会となりました。



国際文化学科 准教授 野坂昭雄

国際文化学科 1 年が「ミス別府」に！



(ミス別府の近藤祐加さんは、前列、右から 2 番目)

2011-12 年度の「ミス別府」を務めている、国際文化学科 1 年の近藤祐加さんにインタビューしました。

- Q:ミス別府の活動について教えてください。
- A:活動の内容は様々ですが、県内外のお祭りやイベントに参加し、別府市の PR をするのがメインです。他にテレビや新聞での撮影があったり、1 日消防長や 1 日船長をしたりと、多岐に渡ります！
- Q:ミス別府として、別府のどういうところを宣伝したいですか。
- A:湯けむり、温泉の楽しみ方、自然を宣伝したいです♪
- Q:別府の観光名所のトップ 3 を教えてください。
- A:地獄、地獄蒸し工房鉄輪、竹細工伝統産業会館かと思います。
- Q:個人的に、別府のどこが好きですか。
- A:鉄輪が好きです！ 鉄輪は小さい頃住んでいたというのがありますが、情緒溢れる街並みが気に入っています。
- Q:芸短では、何を勉強したいですか。勉強以外に、何をやりたいですか。
- A:芸短では、特に外国語に力を入れて、勉強したいです。勉強以外では、市や観光、情報発信に関わることに積極的に参加したいです！
- Q:将来の夢を教えてください。
- A:将来の夢はまだ決まっていませんが、ミス別府を通して培った経験を活かせるものになれると思います。(o^^o)

国際文化学科 講師 ジュリー・ヌートバー

イベント情報

- 10月6日-13日 藤田洋三写真展～失われし家並みを求めて～
- 10月20・21日 芸短祭・人文系 20 周年記念イベント
- 10月24日 国際車いすマラソン選手パネルディスカッション



夏休み実施のインターンシップに多くの学生が参加

1年の渡邊美希さんのレポート

私は、2週間、大分市役所にインターンシップに行かせてもらいました。私が実習した福祉保健部では1日に1課をまわるという形でインターンシップをやらせていただきました。

課ごとに仕事内容がとても様々だったので忙しくもありましたが、新鮮で充実した毎日でした。地図を見ながら病院の位置の地図を作成したり、健康診断、一人親家庭の申告、食育推進の会議などいろいろな所に同行させていただいたり、動物管理所、大分市社会福祉協議会、保健所、消防署などいろいろな施設へ行き、そちらの施設のお話も聞かせていただくことが出来ました。2週間で教わるにはもったいない程貴重な体験が出来ました。

この2週間で私はとても多くの人たちと関わることが出来ました。わからないことばかりで迷惑をかけたかもしれませんが、どの方も優しく笑顔で接してくれて、とても良い人達ばかりでした。滅多に聞けない職場の人達の生の声を聞ける機会にもなりました。私はこのインターンシップに参加して良かったです。市役所で働きたいという気持ちが増したインターンシップでした。

国際車いすマラソン:ボランティア研修会

国際文化学科の学生20名が、今年の10月に行われる第32回大分国際車いすマラソン大会でボランティアすることになりました。



国際文化学科の専門科目「国際ボランティア論」の受講生11名と、アメリカ研究の卒研ゼミ生9名は、通訳ボランティア会Can-doのお手伝いとして、海外選手の大分滞在中の通訳や付添、大会受付、コース下見、開会式、レース前後などのサポートをします。



10月の大会に向けて、事前の研修会が6月から計画されており、16日(土)に、その第1回目に参加してきました。今回の研修では、地元の車いすランナーの方々より、車いすの競技などの説明を受けてから、常用の車いすとレース用の車いすの取扱い方について注意点を教えてもらいました。地元選手の話をお聴きだけでなく、楽しく交流しながら、実際に車いすを運んでみたり、部品を取り外したりすることも体験させてもらい、とても充実したワークショップでした。参加学生にとっては、精神的にも体力的にもハードなボランティアになりそうですが、やりがいのある活動なので、今回の研修会を通してやる気が増してきたように見えました。

国際文化学科 講師 ジュリー・ヌートバー

竹田合宿と耶馬溪の災害ボランティア参加

7月21日(土)と22日(日)の2日間、恒例の竹田合宿が行われました。今回は、上野ゼミ&永田ゼミ&野坂ゼミの1・2年生、総勢40名ほどが参加!



キャンパスの掃除をした後、長湯温泉に入り、その後はバーベキューを楽しみました。夜はきもだめしも…。翌日は、ゼミ毎に別れて研修。野坂ゼミでは国語教科書を用いて、学生が簡単な模擬授業をしました。永田ゼミは、「物語を作る」という内容。その後、野坂ゼミの学生を中心に12名が、集中豪雨の被害に遭った中津市耶馬溪へ向かい、災害ボランティアに参加しました。13:00からおよそ2時間、被災した民家で土砂の運び出しを手伝いました。非常に暑い日で、つらい作業となりましたが、被害の凄まじさを目の当たりにし、現場の緊張感に触れた貴重な経験でした。



国際文化学科 准教授 野坂昭雄

次回予告

ボルネオ植林ツアー事後報告
イギリス語学実習レポート
芸短祭写真集